

# 「天狗党」をテーマとした展覧会が県内博物館で展開！

## 現在開催中の展覧会

### 大野市歴史博物館 企画展「大野に残る天狗党の足跡 ～抵抗ともてなし～」

令和3年12月26日(日)まで



伝藤田小四郎所用陣羽織(個人蔵)

幕末、水戸・筑波山で尊王攘夷の氣勢を上げた天狗党は、諸藩との武力衝突を繰り返しながらも、一路、前藩主 水戸斉昭の子の一橋(後の徳川)慶喜が駐在する京を目指しました。

12月、天狗党接近の知らせを受けた大野藩は、藩内の西谷の集落を焼き払って休息の場を奪いました。その二日後、疲弊した天狗党一行を迎え入れた木本(このもと)村では食事を与え、もてなしました。

今回の展示では、西谷で焼け残った蔵の戸や、天狗党が残していった日本地図、天狗党幹部・藤田小四郎のものと伝わる陣羽織などを通して、天狗党に対する抵抗ともてなしを紹介します。



## 今後開催予定の展覧会

### 敦賀市立博物館 特集展示

#### 「天狗党～武田耕雲斎からの手紙～」

令和3年7月7日(水)～8月3日(火)

元治元(1864)年12月、風雪の中、木ノ芽峠を越えて新保村(福井県敦賀市新保)に着陣した天狗党の首領・武田耕雲斎からの手紙が、加賀藩を通じて追討軍総指揮・一橋慶喜の元へ届けられた。



武田耕雲斎錦絵

今回の展示では、武田耕雲斎の手紙(嘆願書)の内容が記された冊子『前編(水戸天狗党一件記録)』(三島八幡神社蔵)などを中心に、当館に寄託・寄贈された数々の天狗党関連資料を展示し、天狗党降伏までの様子をうかがえます。

### 若狭国吉城歴史資料館 夏季企画展

#### 「水戸天狗党と美浜

#### ～佐柿で過ごした浪士たち～」

令和3年7月31日(土)～10月17日(日)

現在放映中の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公・渋沢栄一は若い頃、水戸学に傾倒し尊王攘夷の志士として活動した時期がありました。また、栄一は天狗党との交流があったといわれ、資料館が建つ美浜町佐柿には、天狗党の中で生き残った浪士たちが住んでいた准藩士屋敷跡が遺されています。

本展では、准藩士屋敷跡から出土した資料を展示し、佐柿で過ごした浪士たちの姿を紐解きます。併せて、佐柿生まれの志士で、渋沢栄一と同じ時代を生きた明治時代の実業家・山本直成を紹介します。



准藩士屋敷跡

## 「天狗党ゆかりの地MAP」配布中！

天狗党ゆかりの地の紹介をはじめ、福井藩や水戸藩で活躍した幕末明治の偉人たちの人物関連図などを掲載している「天狗党ゆかりの地MAP」を県内各公共施設で配布しています。